

季節を感じて

仲嶺 真弓



3年目のコロナ禍の夏。毎日うだるような暑さで、熱中症の心配も大きく、毎日子どもたち、職員の健康観察はいつも以上に欠かせない毎日でした。

職員の家庭内感染の連絡が重なって保育体制がとれないかもしれないと思った時もありましたが、桜連絡網でコロナ感染状況をお知らせし、家庭協力をお願いしたところ、みなさんのおかげで、園を閉鎖せずに何とか乗り切ることができました。ありがとうございました。

そして、季節は進み、うるさいぐらいのセミの声がいつの間にか夕暮れ時からの涼やかな虫の声に。季節は確かに秋へと変わりつつあることを感じます。

9月はお月見があります。つばさでも、中園庭から見える月がとてもきれいで、美しい月を眺めながら、秋の収穫を喜び分かち合い、感謝しながら秋の夜長を楽しむ行事として、保育園開園当初からお月見会行事を企画、開催してきました。けれどここ数年はコロナの影響で企画したのに集まって楽しむ行事は中止せざるを得ない状況が続いていました。今年開催はどうするか職員間でも話し、リモートで楽しむ内容だけでなく、感染予防対策をして、クラス単位で短時間でも集まって秋の夜長を一緒に楽しむ方法はないかを考えました。短時間集まったのお楽しみ時間は、コロナの感染状況により直前で中止する可能性もありますが、秋の収穫に感謝し、月見団子とススキをお供えし、同じ場所から美しい月を眺めるひと時を一緒に過ごせたらと思います。

【お月見会スケジュール】

- お月見団子クッキング動画は、9/7（水）～11（日）まで配信します。ぜひ、お家でも子どもと一緒につくってみてください。
- 9/9（金）お月見会当日は、18時半～19時半、各クラスでお月見のお話や取り組みを楽しみましょう。欠席の方も、前もって撮った動画を同時刻に配信しますので、視聴してお楽しみいただければと思います。
- 天候やコロナの感染状況により、直前で中止もありえます。その場合はさくら連絡網でお知らせしますので、動画配信をお楽しみください。

【お月見豆知識】

お供え物は、月に見立てたお団子（作り方や並べ方などの詳細は給食室ページを見てください）。

ススキは、秋の七草の一つ。悪霊や災いなどから収穫物を守り、翌年の豊作を願う意味が込められています。

お知らせ

4月からうさぎ組の担任として保育にあっていた山本真理子保育士は、本来11月から産休に入る予定でしたが、8月から男女雇用機会均等法の新型コロナウイルス感染症に関する母子健康管理措置により、長期休みをとることになりました。先日、お腹の赤ちゃんも共に気で過ごしていますと返信がありました。元気な真理子ベビーと出会える日が楽しみにです。

9月からは、育休をとっていた職員が2名仕事復帰します。

1名は、山岡陽子保育士。山本に代わり2歳児担任を担当します。

もう1名は、山本佐名絵栄養士。給食室に復帰します。

それぞれの自己紹介は、2歳児ページと給食室ページに載せていますので見てください。

ひよこ組には、フリー担当で各クラスの保育にあっていた森脇保育士が、クラス担任として位置づきます。よろしくお願いいたします。